学校だより 文武

【めざす生徒像】～利他共生の精神から～
自分のよさを知り、友だちのよさにも気付き、互いに伸ばし合っていく生徒

第七十七回卒業証書授与式式辞

いつになく寒暖差が大きい冬の終わりを告げるように、学園道路の木々が麗らかに芽吹き始めています。周辺の野鳥たちが楽しそうにさえずり、風にも日差しにも春の予感を感じさせてくれるよき日に、外山村長様、小菅議長様をはじめとしたご来賓の皆様にご臨席を賜り、第七十七回卒業証書授与式が盛大に挙行できますことに、深く感謝申し上げます。

さて、十九名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取る皆さんの顔には、中学校三年間、義務教育九年間の学びを得て、立派に成長した自信と誇りが感じられました。皆さんの晴れの門出を心から祝福いたします。

私自身が皆さんと一緒に川場中学校で過ごしたのは二年間でしたが、皆さんの元気な挨拶や返事、きびきびとした行動は、清々しいものでした。

日々の授業に意欲的に取り組む姿、部活動の練習や大会に歯を食いしばって挑む姿、生徒会活動をはじめとした様々な行事で、後輩たちを引っ張り、盛り上げてくれた姿、大雪が降った朝、誰に言われるでもなく玄関前の雪かきをしてくれた姿、どれも私の心に深く焼き付いています。

一緒に行った関西修学旅行では、仲間と助け合いながら、世界遺産を目の当たりにして、平安時代の雅な文化を楽しんでいました。建仁寺では座禅を組み、ご住職から伺った法話では、家族への感謝をかみしめていましたね。

統合川場学園の象徴である、小中合同運動会においては、一人ひとりが熱い思いをもって一生懸命取り組み、小中すべての後輩たちの手本として、眩しく輝いていました。自分たちで創った躍動感あふれるダンスは、後にエアロビック動画発表会で最優秀賞にも輝きました。

勉強にも、運動にも常に全力で挑み、仲間や後輩と力を合わせて様々な行事に取り組む姿は、川場中学校伝統の「文武両道」「利他共生」の精神を後輩たちにつなぐものでした。皆さんが、仲間とともに過ごした時間は宝であり、手に入れたものは、きっとたくさんあったことでしょう。それと同じくらいに皆さんは、周りの人たちにも、勇気や感動を与えてくれました。何よりも家族の皆さんにとって、皆さんの頑張る姿が生きがいだったと思います。

今日は、皆さんにとって卒業の日であると同時に、変化の激しいこれからの時代の担い手として、それぞれの新しい未来に向かっての旅立ちの日でもあります。

そこで、私からはなむけの言葉を贈ります。昨年と同じ言葉ですが、卒業式にはこの言葉と決めております。

「明日、世界が滅びるとしても、今日君はりンゴの木を植える」

作家　開高　健さんがよく使っていた言葉です。

『誠意や真心から出た言葉や行動は、それ自体が尊く、相手の心を打つものです。』

明日世界が滅びるなら、今日リンゴの木を植えることは無駄になると考える人もいるでしょう。でも、植える。明日を信じて植え続ける。何か世界を救う大それたことを考えるのではなく、身近なことから始めよ、自分から始めよ。たった一本がいったい何になるんだろうとか考えず、明日世界は終わるかもしれないと立ち止まらない。君が一本植えることで、世界は少しだけ前に進むはずだ。そう信じて、まず、行動を起こそう。

この言葉は、希望を捨てない意志の強さ、明日を諦めない眼差しの強さ、絶望に陥らない心の強さが、目の前の相手に宿ることを願うものです。

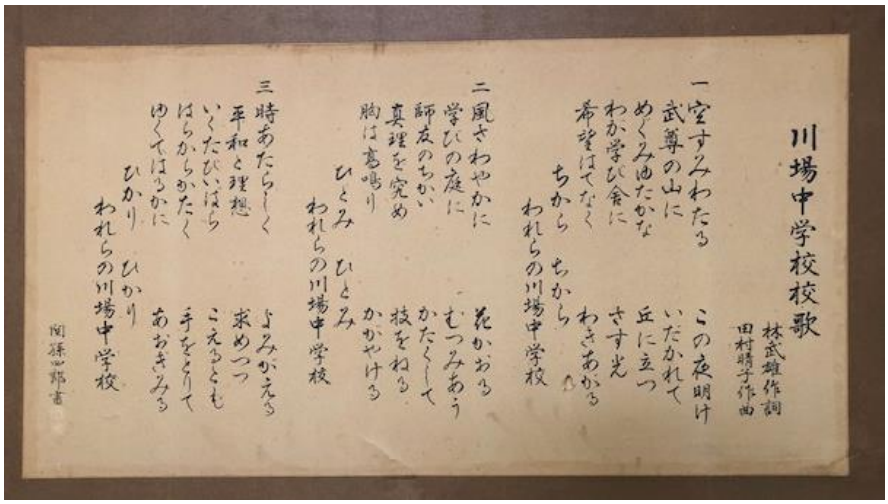
さあ、皆さん。順境にあって侮らず、逆境にあって焦らず、常に前を向き、一歩一歩着実に歩みを進めていきましょう。そして、感謝の気持ちを忘れず、人の痛みを感じ取れる「豊かな感性」と、冷静に考え行動できる「本物の知性」を両方持ち続けてください。それが、AIにできなくて、人間が力を発揮できるところです。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、悩みも多く、多感な時期で、心配の種は尽きなかったことと思います。けれども、子どもたちは様々な困難を乗り越え、立派に成長しました。これまでの三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに、心より深く感謝申し上げます。今後は、地域や社会の中で、自立・貢献・共生していく子どもたちを見守り支えてくださいますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さんと、本日ご臨席いただいた皆様の前途に幸多かれとお祈りし、式辞といたします。

令和6年3月13日

川場村立川場中学校
校長　岡村　健一



川場中学校校歌

林武雄作詞
田村勝子作曲

一 空すみわたる　この夜明け
武尊の山に　いだかれて
めぐみゆたかな　丘に立つ
わが学び舎に　さす光
希望はてなく　わさあかる
ちから　ちから
われらの川場中学校

二 風さわやかに　花かおる
学びの庭に　むつみあう
師友のちかい　かたくして
真理を究め　枝をねる
胸は高鳴り　かがやける
ひとみ　ひとみ
われらの川場中学校

三 時あたらしく　よみがえる
平和と理想　求めつつ
いくたびいばら　こえるとも
はらからかたく　手をとりて
ゆくてはるかに　あおきみる
ひかり　ひかり
われらの川場中学校

関孫四郎書

この校歌の書は、校長室の壁に古くからあるものです。素晴らしい校歌ですね。毎日チャイムで聞いているので馴染みも深く、みなさんもきっと大好きな校歌だと思います。その校歌も、統合によりあと一年で歌われなくなってしまいます。本日の卒業式でも参加者全員で心を込めて歌いました。いつまでも心に留め置いてください。

『桜梅桃李』（最後の集会より）

花のよさはそれぞれです。比べることができません。あなたもあなたらしく、そのままがいいのです。

あなただからこその輝きを見つけ、磨いていきましょう。